

世界最高峰ベルリン・フィルのアンサンブルと佐渡裕のコラボレーション

# フィルハーモニー・ オーボエ・カルテット with 佐渡裕

(ナレーター) ※佐渡裕は指揮をいたしません

佐渡裕がオペラ「魔笛」の物語をお話ししながら  
オーボエ&弦楽トリオによる世界最高峰の甘美なハーモニーを堪能  
クラシックコンサート・オペラ初心者の方にもおススメ!



©Peter Rigaud c/o Shotview Artists

## 演奏予定プログラム

W.A. モーツァルト  
オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370

J. フランセ  
コールアングレ四重奏曲

W.A. モーツァルト  
オペラ「魔笛」より K.620(ロシナック編曲)

2024

12月7日

土

15:30 開場  
16:00 開演

釜石市民ホール TETTO  
ホールA

## チケット料金

全席指定・税込

一般 4,500円

高校生以下 1,500円

当日各500円増 ※未就学児入場不可

割引チケット

TETTO 友の会：会員証提示で2枚まで  
シルバー：65歳以上証明書提示で一般1枚まで  
親子セット：一般&高校生以下1セットで割引  
\*各2割引き / 釜石市民ホールのみ取扱い

QRコードから予約可



## プレイガイド

【釜石】釜石市民ホール、東山堂釜石事業センター  
イオンスーパーセンター釜石店  
【大槌】シーサイドタウンマスト  
【大船渡】サン・リア、リアスホール  
【盛岡】カワトク 【北上】さくらホール  
【Web】カンフェティ、チケットぴあ

ご来場される皆様へ【ご協力お願い】

○発熱や体調不良時には来館や来場をお控えください。○施設内でのマスク着用は個人の判断となります。混雑時や継続的な発声を伴う公演等、必要に応じて着用してください。○施設内での咳エチケットや手洗いの励行を推奨します。

## 【主催・問合せ】

釜石市民ホール TETTO

指定管理者：釜石まちづくり株式会社

TEL 0193-22-2266

mail daihyo@tetto-kamaishi.jp

岩手県釜石市大町 1-1-9





**Message** 今回『フィルハーモニー・オーボエ・カルテット』はたった4人でモーツァルトの有名なオペラ《魔笛》のハイライトを演奏します。この編成で壮大なオペラの世界に挑むのは、普通なかなか考えられないことですが、世界的名手達が小さなオーケストラとして、生き生きとしたオペラの舞台を体験させてくれます。私はナレーションとして友情出演し、ちょっとだけ演奏にも参加します！オペラや室内楽ファンの皆様だけでなく、演奏会は初めての方にも楽しんでいただける特別な企画。どうぞご期待ください！

**佐渡 裕 ナレーター**

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン WDR 交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在オーストリアのトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督、兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した「マラー：交響曲第1番」を2024年5月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫/新書)など。23年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>

©Peter Riquad c/o Shotview Artists



**フィルハーモニー・オーボエ・カルテット Philharmonic oboe Quartet**

弦楽トリオとオーボエというユニークな組み合わせが特徴のフィルハーモニック・オーボエ・カルテット (PoQ) は、2016年にクリストフ・ハルトマン (オーボエ) とルイス・フィリペ・コエーリョ (ヴァイオリン)、ワルター・ケスナー (ヴィオラ)、クレメンス・ヴァイゲル (チェロ) によって結成された。きっかけは2016年夏にドイツの「ランツベルグ音楽祭」にて18世紀にオーボエ奏者として活躍したフランツ・ヨーゼフ・ロシナック編曲によるモーツァルト作曲『魔笛』のオーボエ四重奏版を演奏したことである。それ以来、ドイツやイタリア、ブラジル、アメリカで数々のコンサートホールやフェスティバルで演奏を重ね、2019年秋には日本デビューを果たし、同時に初録音、モーツァルト作曲『魔笛』(ロシナック編) をリリースしている。

**クリストフ・ハルトマン  
オーボエ**

1965年ランツベルク・アム・レヒ生まれ。アウクスブルクのレオポルド・モーツァルト音楽院にてゲオルク・フィッシャー氏、ミュンヘン音楽大学にてギンター・パッシン氏に師事、オーボエと室内楽の修士号を取得。在学中よりシュトゥットガルト・フィルハーモニーで活躍した後、1992年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。1999年ランツベルク夏の音楽祭を創設。それを機にアンサンブル・ベルリンを結成、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の室内楽グループである。オーボエ奏者としてEMIと契約、2008年アルバムをリリース。ベルリン・フィルハーモニー・アカデミーにて後進指導にもあたっている。

**ルイス・フィリペ・コエーリョ  
ヴァイオリン**

ブラジル出身。4歳よりヴァイオリンを始め、16歳でヨーロッパに渡りハンズ・アイスラー音楽大学ベルリンなどにてウルフ・ヴァーリンやザハール・ブロンに師事。2007～2008年ベルリン・フィルハーモニー・アカデミーにて研鑽を積み、2008年にはベルリン・フィル・アカデミーと録音したバッハの『2つのヴァイオリンのための協奏曲』でソリストを務めた。2012年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に正式に入団。ティボール・ヴァルガ国際コンクール3位の他、数々のコンクールで入賞。使用楽器はドイツ政府所有のクレモナのロレンツォ・ストリオーニ1774年製。

**ワルター・ケスナー  
ヴィオラ**

ミュンスター生まれ。1987年バイエルン放送交響楽団に入団後、1989年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。ヴィオラ奏者の傍らオーケストラのアーキビストも務め、弦楽八重奏団、四重奏団など室内楽アンサンブルにも積極的に参加。シフ・アンドラーシュ、レオニダス・カヴァコス、サラ・チャン等の室内楽パートナーでもある。ユルゲン・クスマウル、キム・カシュカシアン、マイケル・トゥリーらに師事。ハンズ・アイスラー音楽大学で客員教授として教鞭を執っている。上海音楽学院名誉教授。

**クレメンス・ヴァイゲル  
チェロ**

1968年生まれ。ヴェルツブルグ出身。6歳よりチェロを始める。ヤングスチューデントとしてトロシゲン音楽大学で研鑽を積み、ウィーン国立音楽大学にて学士、ミュンヘン音楽大学院にて修士取得。ゲラルト・ハマン、ワルター・ノータスらに師事。ゲルトナープラッツ州立劇場に所属。ウォルフガング・パヴァー・アンソート (バロックアンサンブル)、ロダン四重奏団、アンサンブル・ベルリン創設メンバーとして活躍。また、1999年よりミュンヘン音楽大学にて教鞭を執る。シュレスヴィヒ = ホルシュタイン音楽祭のゲストコーチとしても活躍。日本でも兵庫県立芸術文化センター管弦楽団のゲスト・トップ・プレイヤーとして活躍している。

